

震災復興版Gyro(ジャイロ)

# がんばろう福島

～ Voices from Fukushima ～



当協会HPをご覧ください。

東日本大震災から2年3ヶ月が経ちました。今もなお困難な生活を余儀なくされている被災者の方々に心よりお見舞い申し上げます。また、全国の皆様からは、変わらぬご支援と温かい応援をいただき、誠にありがとうございます。

(公財)福島県国際交流協会では、震災直後より当協会広報紙「ジャイロ」の震災復興版として「がんばろう福島」を発行し、福島県の現状や外国出身県民の声、復興に向けた活動等を紹介しています。

※本紙の翻訳版は、当協会HPからダウンロードできます。



## 福島の風景

### 復興願う「東北六魂祭」

東北の六大祭りが集結する「東北六魂祭」が、6月1日(土)と2日(日)に福島市で開催され、全国各地からの多くの観光客で賑い、福島市はお祭りムード一色に染まりました。

メインイベントの東北六大祭りのパレードでは、福島市の「わらじ祭り」を先頭に、各地域で受け継がれた伝統芸能が福島市役所前の国道4号線約1kmを練り歩き、たくさんの方で埋め尽くされた沿道からは拍手や歓声が沸き起こっていました。



多文化共生サポーターの鹿間さん

パレードの他にも、航空自衛隊「ブルーインパルス」による曲技飛行の披露や、東北六市や福島県の物産展、伝統芸能発表、音楽ステージなどが練り広げられました。インフォメーションでは、当協会のふくしま多文化共生サポーターが英語通訳案内人として協力しました。

2日間で約25万人(主催者発表)の観光客が訪れ、東日本大震災と原発事故からの復興を願う東北人の魂が福島で絆を強め、熱く燃えた2日間となりました。

(福島市 2013.6.1取材)



長さ12mの巨大わらじを担いだ「福島わらじまつり」

### 会津若松市 観光回復に高まる期待



観光客でにぎわう「会津鶴ヶ城」

NHK大河ドラマ「八重の桜」放送の影響もあり、会津若松市内の観光が持ち直してきています。県外からのバスツアーやまちなか周遊バス「ハイカラさん」を利用して新島八重にちなんだ観光施設や会津鶴ヶ城などのゆかりの地を巡ったり、会津塗や会津絵ろうそくなどの会津の伝統文化を堪能する観光客の姿が多く見られます。

また、現在、福島県立博物館では大河ドラマ特別展が開催されており、新島八重の会津時代から京都時代までの資料約200点が展示されています。県立博物館隣の旧会津図書館跡には大河ドラマ館がオープンしており、併せて見学する観光客が多く見られました。

(会津若松市 2013.5.28取材)

### 体験学習による子どもたちの成長支援

「南相馬ソーラー・アグリパーク」は、南相馬市原町区の津波被災地に建設された太陽光発電所・植物工場で、今年5月にオープンしました。福島の風評を払拭するとともに、子どもの体験学習プログラムを実施し、次世代の復興を担う人材育成にも取り組んでいます。プログラムにある太陽光による発電や巡視点検、電気自動車への充電、植物工場での作業などの体験を通して、自ら考えて行動する力が育まれています。

(南相馬市 2013.5.31取材)



体験学習での巡視点検



## 福島に暮らす人々の声

### 志賀 麗さん（会津若松市在住・震災時は大熊町在住 中国出身女性）

東日本大震災当時は大熊町在住だったため、すぐに避難を余儀なくされ、現在も会津若松市内の仮設住宅で生活しています。長く続く仮設住宅での生活に震災直後とは異なる不安にかられることや、居住者間でのコミュニケーションの難しさに悩むことがあります。価値観の違いを受け入れることや支え合う人間関係、私自身が必要とされる機会は特に大事にしたいと思っています。

役場から仮設住宅の世帯毎にタブレット端末の支給があり、町からの連絡事項の確認やインターネット・テレビ電話の利用、町民間での SNS 活用ができるようになりました。私自身もスマートフォンを購入しました。機器の操作になかなか慣れませんが、情報収集不足がないようにしています。（2013. 5. 28 取材）

### 川村 エミーさん（福島市在住 アメリカ出身女性）

震災直後、夫の実家がある山形県酒田市に息子と 2 人で避難しました。何より息子の健康を一番考えたからです。今も地震はありますし、放射能のことは不安でしたが、家族みんなで暮らす方が良いと考え、今年の 3 月に福島市に戻ってきました。息子も元の小学校に戻り、友だちとも再会できて、外で元気に遊んでいます。

7 年前、当時住んでいた千葉県成田市から福島市に移ることになった際、周りの人からは「福島は緑も多く、食べ物もおいしいから、住むにはとてもすばらしいところだ」と言われました。東日本大震災が起きた際は 180 度変わってしまいましたが、今現在も誤解されたままであることが少なくありません。避難して戻ってきたからこそ、今の自分の生活は安全で、元気に暮らしているということを伝えていかなければと思います。また、再び多くの観光客が福島を訪れるようになってほしいと思います。（2013. 5. 25 取材）

### アダム ヴェリンさん（福島市在住 カナダ出身男性）

昨年夏より、福島市の ALT（外国語指導助手）として勤務しています。着任前、福島で働くことを喜ばない家族もいましたが、東日本大震災から 1 年以上経過していたので、私自身は福島で生活することに迷いや不安はありませんでした。

福島に来てから、震災や原発事故についてさらに詳しく知ることとなり、風評被害や逆境に負けずに、忍耐強く生きている県民の姿を目の当たりにしました。ALT の任期は来年の夏までですが、残りの期間中に福島県での貴重な経験を多く蓄積したいと思っています。人との出会いはもちろん、県内の観光名所をできるだけ訪れたいですし、すばらしい自然景観も堪能しておきたいです。（2013. 5. 25 取材）



## 福島県内各地の環境放射能測定値（暫定値）（福島県 HP から抜粋）

福島県 HP では、県内各地の環境放射能測定値（暫定値）を日本語、英語、中国語で、県国際交流協会 HP では、それらに加え、タガログ語、韓国語、ポルトガル語で随時更新しています。

<http://www.worldvillage.org/>

単位：マイクロシーベルト/時間

| 日時               | 福島市          | 郡山市         | 白河市           | 会津若松市       | 南会津町           | 南相馬市        | いわき市          |
|------------------|--------------|-------------|---------------|-------------|----------------|-------------|---------------|
| （平常値）            | 0.04         | 0.04-0.06   | 0.04-0.05     | 0.04-0.05   | 0.02-0.04      | 0.05        | 0.05-0.06     |
| 2013. 6. 18 9:00 | 0.34         | 0.19        | 0.13          | 0.08        | 0.05           | 0.15        | 0.09          |
| 測定装置             | 固定型 MP       | 固定型 MP      | 固定型 MP        | 固定型 MP      | 固定型 MP         | 固定型 MP      | 固定型 MP        |
| 福島第一原発からの方向及び距離  | 北西<br>約 63km | 西<br>約 58km | 西南西<br>約 81km | 西<br>約 98km | 西南西<br>約 115km | 北<br>約 24km | 南南西<br>約 43km |

※測定地点は、福島市は県北保健福祉事務所南側駐車場、郡山市は郡山合同庁舎東側駐車場、その他の市町は各合同庁舎の駐車場です。  
※平常値は、県内の平成 21 年度放射線レベル調査結果です。



## お知らせ

### ○外国出身者のための生活相談窓口のご案内

当協会では、外国出身の方々のために外国語で生活相談に応じています。

- 英語・中国語・日本語 毎週火曜日～土曜日 9:00～17:00
- 韓国語・タガログ語・ポルトガル語 水曜日 13:00～17:00  
※第 4・5 水曜日は事前予約が必要です。

電話：024-524-1316（専用） E-mail：ask@worldvillage.org（専用）

### 発行者

（公財）福島県国際交流協会

〒960-8103 福島県福島市舟場町 2-1

☎024-524-1315 FAX 024-521-8308

E-mail info@worldvillage.org

URL <http://www.worldvillage.org>